



施設営繕担当部 公共施設マネジメント推進課

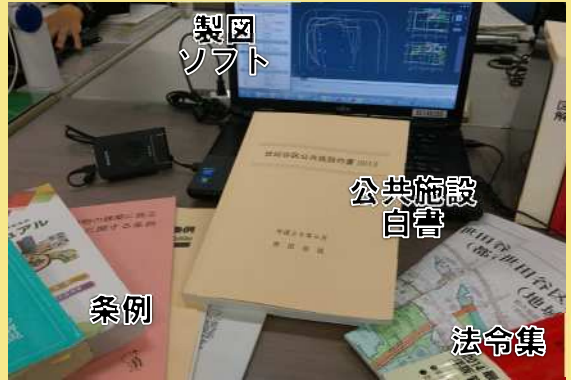
梅村 実穂

(建築職 H23年度入庁)

公共施設マネジメントの仕事について

世田谷区を含め、全国の自治体では厳しい財政状況が続く中、過去に整備された公共施設が大量に更新時期を迎えるという課題に直面しています。また今後、区民のライフスタイルや人口、世帯構成の変化により、公共施設のあり方やニーズが変化していくと考えられます。

これらの課題に対応するため、世田谷区では平成26年4月に、公共施設マネジメント推進課(以下、公マネ課)を、新設しました。公マネ課は、公共施設の全体を把握し、長期的な視点をもって、公共施設の更新や統廃合、長寿命化、省エネ化などを計画的に行うための技術的検討や取り組みを行っています。



公共施設白書 や条例など冊子や法令集、製図ソフトを用いて検討します

仕事とやりがい

区が所有する施設は、学校や保育園、区営住宅、集会施設など様々で、それぞれ別の部署が管理しています。公マネ課ではそれらの施設情報を一元化した公共施設白書 や庁内システムを活用して、庁内の横断的な連携を図りながら施設整備の適正化に取り組んでいます。

この取り組みの中で私は、施設の更新や統廃合について、既存の施設や土地を有効活用するため、関係法令などの技術的検討を行っています。また、施設の効率性や機能性の向上のため、老朽施設などの複合化や長寿命化も検討しています。

公マネ課での仕事は、持続可能で魅力ある公共施設を次世代に残すという重責を負いますが、そのやりがいは非常に大きなものです。



少人数の課ですが、職種も豊かで、課全員一丸となって取り組める職場です

公共施設白書...施設の現状を把握するため、施設概要、利用実績、コストなどの情報をまとめたもの

